

第 86 回大腸癌研究会 倫理審査委員会

議事録

日 時： 平成 29 年 1 月 19 日（木）午前 11 時～
場 所： アイーナ（いわて県民情報交流センター）804 号室
出席委員： 富田尚裕、八尾隆史、掛地吉弘、植竹宏之、川上祥子
欠席委員： 楠 正人、飯石浩康、間部俊明、正木忠彦
（敬称略）

* 出席者が 5 名で 2/3 の定足数に満たず、委員会としては成立しないが、今回特に審議・承認事項は無く、以下の議題についての報告と話し合いを行った。

議事

- 1、前回の大腸癌研究会前の 2 件を含めて、直近半年間の倫理審査案件のリスト（別紙）が提示され、すべて承認済みであることが報告された。
- 2、委員長から以下の問題提起があり、出席委員で確認が行われた。尚、本件については、欠席委員にも後日、資料と共に委員長からの要望として伝達することとした。

倫理審査委員会の審査における委員間の審査基準について

昨今、委員間で審査の基準にバラツキが見られるように思います。事例として、昨年 of 東京大学から申請の案件、『MRI 診断能に関する研究』を資料 1、2、3 で示します。委員 9 名中、3 名が保留、6 名が承認となっています。3 名の保留意見、および、それを委員長が整理、朱書きで取捨選択の上、杉原会長への最終の倫理審査委員会の答申書としてまとめたものもご参照下さい。

倫理審査委員会では倫理面での審査が主目的とは思いますが、研究会には他に臨床研究審査委員会などの研究審査の部門はありませんので、倫理面のみでなく、臨床研究の研究計画書についてもおよその確認、審査は必要と考えます。委員各位はそれぞれの専門分野を中心に審査いただき、今後も適正な審査がなされるようにご協力を宜しくお願いいたします。

（文責：委員長 富田尚裕）

大腸癌研究会 倫理審査委員会

I) 倫理審査研究一覧

| 研究課題名 | 研究代表者 | 審査結果 |
|---|------------------------------------|------------------------|
| 1. 「遺伝性大腸癌 -基礎から臨床まで-」アンケート調査 | 兵庫医科大学 外科学 下部消化管外科 主任教授 富田尚裕 | H28年3月1日 承認 |
| 2. 「大腸癌に対する腹腔鏡下手術の適応と現状」アンケート調査 | 兵庫医科大学 外科学 下部消化管外科 主任教授 富田尚裕 | H28年3月1日 承認 |
| 3. レゴラフェニブおよび TAS-102 以外の標準治療薬に不応/不耐となった治癒切除不能大腸がんに対するレゴラフェニブ単独療法と TAS-102 単独療法を比較する多施設共同観察研究 | 高知医療センター 腫瘍内科長 島田安博 | H28年9月21日 承認 |
| 4. MRI 診断能に関する研究 | 東京大学 腫瘍外科 血管外科 教授 渡邊聡明 | H28年10月31日 保留 |
| 5. MRI 診断能に関する研究 | 東京大学 腫瘍外科 血管外科 教授 渡邊聡明 | H28年12月12日 承認(条件付き) |
| 6. pT1 大腸癌のリンパ節転移のリスク因子に関する日英共同研究 | 防衛医科大学校 外科学講座 教授 上野秀樹 | H28年12月26日 承認 |

II) その他